

宝酒造株式会社の事業適応計画のポイント

2026年3月30日

当社は、「宝グループ・サステナビリティ・ビジョン」においてCO₂排出量削減目標として、太陽光パネルの導入や高効率ボイラー等の省エネ設備の導入、設備運用の適正化によって、2030年までに生産拠点におけるCO₂排出量を2018年度比で46%削減することを掲げております。この目標に向けた施策として、アルコール製造過程で発生する未利用排熱を利用して高圧蒸気を生成する省エネ設備を導入し、生成した高圧蒸気を再度アルコール製造に利用します。これにより、ガス消費による蒸気生成量を削減し、CO₂排出量の低減を図るとともに、付加価値の創出および環境負荷の軽減に取り組みます。

< 事業適応計画の概要 >

1. 事業適応計画の実施期間

2026年4月～2028年3月

2. 生産性向上目標

松戸工場の炭素生産性を25.9%向上させることを目標とする。

3. 前向きな取り組みの内容

アルコール製造過程で発生する未利用排熱を利用して高圧蒸気を生成する設備として、熱回収コンデンサ、蒸気圧縮機及び受変電設備を導入する。生成した高圧蒸気を再度アルコール製造工程に利用することにより、ガス消費による蒸気生成量を削減し、CO₂排出量の低減を図ることで、炭素生産性を25.9%向上させる。

4. 支援措置

税制措置（カーボンニュートラルに向けた投資促進税制）

< 省エネ設備を導入する工場外観と概要 >



事業場名：宝酒造株式会社 松戸工場

住所：千葉県松戸市新作字高田111